

令和7年第4回(12月)大郷町議会定例会一般質問通告書

目 録

1. 佐々木 和夫 議員
 - 1) 起業塾で人事交流を
 - 2) 有害鳥獣対策について
 - 3) 森林・竹林整備について

2. 金須 新一 議員
 - 1) 本町におけるクマ対策について
 - 2) 町長選挙における公職選挙法違反疑い行為について

3. 鎌田 暁史 議員
 - 1) スマートスポーツパーク構想について
 - 2) かわまちづくり事業について
 - 3) 町長の公約について

4. 赤間 則幸 議員
 - 1) S S P構想の実現
 - 2) 正しい選挙運動を

5. 熱海 文義 議員
 - 1) 町が管理している土地・施設について
 - 2) かわまちづくり事業について
 - 3) 人口減少対策について

6. 鈴木 恵子 議員
 - 1) 倒木の安全対策強化について
 - 2) ふれあい農園について
 - 3) 教育長・代表監査委員不在の対応について

7. 赤間 繁幸 議員
 - 1) 令和8年度の財政への考え

8. 鈴木 安則 議員
 - 1) S S P構想について
 - 2) 防災士について

9. 鈴木 利博 議員
 - 1) 不登校「0」への挑戦
 - 2) 英語学習への更なる取り組み
 - 3) トマト栽培ハウスの早期解体を

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 起業塾で人材交流を</p> <p>(1) 本町は、企業誘致を推進しているが、誘致する団地等が整備されていない状況である。町内外では、個々で、起業を目指す人々がいる。その人たちを集め、起業塾や起業セミナー等を開催し、人材育成や人材交流を図り、定住促進や定住人口を図ってみてはどうか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 有害鳥獣対策について</p> <p>クマ、イノシシ等による農作物等への被害が報告されている。特に、イノシシによる田畑の農作物に対する食害が多いと感じられる。今後の対策について所見を伺う。</p> <p>(1) イノシシの今年度の捕獲頭数及び農作物の被害金額について伺う。</p> <p>(2) 有害鳥獣被害防止施設購入事業補助金について、今年度の補助対象件数及び補助金額の実績について伺う。</p> <p>(3) 鳥獣被害対策実施隊の活動は、有害鳥獣が年々増加傾向であり実施隊の出動回数が多くなっていると思われる。隊員の福利厚生について伺う。</p>	
<p>3. 森林・竹林整備について</p> <p>近年、少子高齢化により、竹の有効な利用方法が無いために、整備が行われておらず、荒廃した森林が多く見受けられる。今後の森林整備について伺う。</p> <p>(1) 森林環境譲与税を基金として積み立てているが、基金の残高及び今後の活用方法について伺う。</p> <p>(2) おおさと地域振興公社や商工会等と連携し、竹を利用した商品開発をしてはどうか伺う。</p> <p>(3) 竹林を整備するために、町が竹の粉碎機を購入し、シルバー人材センターに処理の依頼や個人所有する山林の環境整備に貸出し、山林の整備を行ってはどうか伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 本町におけるクマ対策について</p> <p>全国的にクマの大量出没に伴う人的被害が多発し、日本社会を揺るがしている。宮城県内においても、河北新報県内版「クマ目撃情報」記事のスペースが、日々増加している状況である。以下の点について伺う。</p> <p>(1) 本町の対応や対策について伺う。</p> <p>(2) 緊急銃猟が必要と判断される案件が発生した場合、すみやかに対応できるのか伺う。</p> <p>(3) 新聞報道によると、本町では環境省が勧める地域ごとのマニュアルが未作成であり、早急に策定すべきと考える。今後の対応について伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 町長選挙における公職選挙法違反疑い行為について</p> <p>10月28日に放送されたニュースによると、8月に初当選を果たした石川町長と支援者の男性が、公職選挙法違反の疑いで刑事告発されたとの報道があった。</p> <p>(1) 町長は今回の事態をどのように捉えているか伺う。</p> <p>(2) 当時、対立候補者選挙事務所関係者から、公職選挙法違反疑い行為の情報を選挙管理委員会に通報したと聞いている。選挙管理委員会は、その後どのような対応をしたのか伺う。</p> <p>(3) 議会や町民に経緯説明と謝罪をすべきと考えるが、町長の所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. スマートスポーツパーク構想について</p> <p>(1) 町は構想の継続的な検討に向け、地権者の意向を再確認が必要と判断し、11月上旬からアンケート調査を実施している。アンケート調査の結果として、地権者の意向はどのような傾向なのか伺う。</p> <p>(2) アンケート調査後にSSP構想の方針について調整が行われ、予定地活用の方向性が決まると思われる。仮に、予定地の圃場整備を進める方針とする場合、当初の圃場整備事業に編入するケースや、当初の圃場整備事業とは別の事業で進めるケースが想定される。各ケースの課題についてどのように認識しているか伺う。</p> <p>(3) 仮に、予定地への企業誘致を継続する方針とする場合、どのような取り組みを行うのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. かわまちづくり事業について</p> <p>(1) 令和5年12月議会での質疑によると、パークゴルフ場は年間3万人、キャンプ場は年間1,000人の利用客を想定し、整備後年間約25万人を交流人口として想定とのことであった。これらの人数を算出した根拠について伺う。</p> <p>(2) パークゴルフ場、キャンプ場、バーベキュー場等の維持管理費用や事業の採算性についての見解を伺う。</p> <p>(3) 吉田川が増水した場合に、施設や設備の冠水や破損の可能性も考えられる。水害リスクについての考えを伺う。</p>	
<p>3. 町長の公約について</p> <p>(1) スーパーマーケットの誘致について、取り組みの進捗状況と、今後の見通しについて伺う。</p> <p>(2) 活力のある町づくりとして、既存企業、地場産業の支援強化を掲げられている。具体的な取り組みとしてどのようなものを検討しているか伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. SSP構想の実現</p> <p>10月28日18時30分から粕川地区防災コミュニティセンターにおいて、地権者並びに関係者への説明会があった。あのような曖昧な町長の答弁では、地権者の方々は納得する事ができないと考えている。</p> <p>(1) スポーツX株式会社が撤退となったが、町民が納得できるSSP構想を実現していく気持ちはあるのか伺う。</p> <p>(2) 企業誘致をどのように考え、舵を切っていくのか、所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 正しい選挙運動を</p> <p>8月の町長選で、石川良彦町長のたすきを付けた別人が選挙運動をしたとの報道があった。</p> <p>また、選挙事務所内でSSP事業用地の土が足りなくなれば、除染土を持ってくるかもとの話が出ていたとの情報があった。</p> <p>以下の点について伺う。</p> <p>(1) 候補者以外の者がたすきをかけて選挙事務所前での運動を行った経緯を伺う。</p> <p>(2) 造成地に除染土を持ってくるかもと、選挙事務所で話題になっていたと聞いたが、その経緯について伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 町が管理している土地・施設について</p> <p>(1) 旧大郷牧場は草刈りを委託してなんの利用もしていない。今後の利用方法について所見を伺う。</p> <p>(2) 縁の郷は指定管理者を募集しているが、なかなか見つからない状況である。町民懇談会でレストラン・宿泊施設を一体で指定管理してもらおうような考えを持っているようだが、畑だけ貸す考えはないのか、所見を伺う。</p> <p>(3) ふれあい農園の今後の活用方法について所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. かわまちづくり事業について</p> <p>(1) 粕川大橋を渡った吉田川左岸の三角地帯（レジリエンスベース）の活用方法について、所見を伺う。</p> <p>(2) 河川敷にパークゴルフ場の計画がある。大雨時の土砂堆積対策をどのように考えているのか。また、他の自治体を参考にすべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(3) かわまちづくり事業の費用負担及び管理費はいくらになるのか、所見を伺う。</p>	
<p>3. 人口減少対策について</p> <p>(1) 民間企業での住宅用地造成は採算が取れないと聞いている。町独自で用地取得・造成を考えてはどうか所見を伺う。</p> <p>(2) 空き家・空き地バンクの登録を積極的に推進しては。</p> <p>(3) 「夢実の湯」の廃業で多くの方々から、残念との意見があり復活してほしいとの要望もある。町としての所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 倒木の安全対策強化について</p> <p>本町には赤道が多く存在し、また人通りは少ないものの木々が鬱蒼と生い茂る公園もある。これまでも、夏の豪雨で倒木が発生し、幸い通行人は、いなかったものの危険な状況であった。</p> <p>さらに先日の暴風では倒木により停電が起こるなど生活への影響も出ている。</p> <p>これからの季節は積雪や暴風により倒木リスクが、さらに高まること懸念される。人身事故や災害を未然に防ぐためにも、早急な安全対策が求められる。以下の点について伺う。</p> <p>(1) 赤道・町道・公園の定期的な樹木点検の実施状況は。</p> <p>(2) 災害時の停電リスク低減に向けた町の対策は。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. ふれあい農園について</p> <p>本町の貸農園は、利用者が少なく、多くの区画が空いている。今後どのように活用していくのか、所見を伺う。</p>	
<p>3. 教育長・代表監査委員不在の対応について</p> <p>(1) 教育長が不在状況が続く中、教育行政の継続性や現場への影響について心配している。この間、教育委員会の業務はどのような体制で進めているのか、問題はなかったのか、早期の選任に向けた見通しについて伺う。</p> <p>(2) 代表監査委員の任期について、町で把握していなかったのか。このような状況になった理由と、今後の対応について所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 令和8年度の財政への考え</p> <p>総合計画では、魅力的な雇用環境づくり、若者の定住促進、少子化対策、子育て支援などの住みやすいまちづくりに向けた各種施策を展開することで、令和16年度の戦略人口を7,000人と目標設定している。より効果的な施策を実行していくことで、目標を達成していかなければならない。</p> <p>しかし、施策の実行には財源をどうするかという課題がある。「広報おおさと」に示された、令和5・6年度の決算、基金残高、町債残高では財政に余裕があるとは言えない。今後、老朽化したインフラの整備、社会保障費の増加などで財政はますます厳しくなっていく。</p> <p>令和8年度はどうやって収入を増やしていくのか、無駄な支出を減らしていくのか、具体的な考えを伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>

通 告 要 旨	備 考
<p>1. SSP構想について</p> <p>9月にSSP事業が中止となり、地権者の多くは大変残念に思っている。11月に地権者説明会が行われた。 以下の点について伺う。</p> <p>(1) SSP事業用地 20ha を町で購入するのか伺う。</p> <p>(2) SSP構想用地 60ha (SSP事業用地 20ha を除く) をどうするのか伺う。</p> <p>(3) 11月に農地 60ha について地権者 69 人、3 法人、1 団体に対してアンケート調査を実施した。その調査結果を公表するのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 防災士について</p> <p>防災士の資格取得を各行政区に協力要請はしているものの、なかなか予定通りに進んでいないのが現状である。防災士は、災害時に避難所の運営等に欠かせない強力な人材であり、防災訓練等でも指導的存在である。 以下の点について伺う。</p> <p>(1) 現在、防災士有資格者は何名か伺う。</p> <p>(2) 防災士の役割等具体的な内容について伺う。</p> <p>(3) 組織化の予定はないのか伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 不登校「0」への挑戦</p> <p>本町に於いて、不登校の児童・生徒数は県内でも上位に位置付けされている。毎年の様に不登校児童・生徒数が多い状況では、慢性化している状況である。よって、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 慢性化状況から打破するためにも、抜本的な取組が必要と考えるが、所見を伺う。</p> <p>(2) 舟形町での取り組み事例として、「子供の声調査」を年3回実施している。本町でもぜひ取り組んでみては。</p> <p>(3) 県内において、不登校児童・生徒を「0」にし、他の市町村から、さすが大郷町だと思われる取り組みを真剣に取り組んでみては。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 英語学習への更なる取り組み</p> <p>これからの児童・生徒が世の中に羽ばたく時には、英語が話せて当たり前と思われ、英語の指導が必須と考える。以下の点について伺う。</p> <p>(1) ALTとの関わり方を工夫するとともに、学校での授業以外にも積極的に児童・生徒とコミュニケーションを持つべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p>(2) 夏休み等を利用し、国内在住の外国人世帯へホームステイできる環境を設けてみては。</p> <p>(3) 学校生活の中で、日本語NGタイムを設け、英語のみでの時間を設けてみては。</p>	
<p>3. トマト栽培ハウスの早期解体を</p> <p>大松沢地区にある株式会社東北アグリヒトの園芸ハウスが、被災により放置されたままになっている。このままの状況では景観・地権者への影響が心配される。以下の点について伺う。</p> <p>(1) (株)東北アグリヒトへの連絡はどうなっているのか。</p> <p>(2) 地代の支払いは、しっかりとされているのか。</p> <p>(3) 地権者の事を考えると、このままの状況が続くのであれば、法的</p>	

な手続きを踏まえ、町が解体費用を負担し、地権者への原状回復をするべきでは。	
---------------------------------------	--